

奈良市議会だより



No.150

令和4年5月1日発行

〒630-8580

奈良市二条大路南一丁目1番1号
奈良市議会事務局 ☎(0742)34-4734

■発行／奈良市議会
■編集／奈良市議会広報広聴委員会



4月に開所した子どもセンター

3月定例会

令和4年度一般会計予算を可決

本市議会は、令和4年3月定例会を3月3日から3月24日までの22日間の会期で開きました。

この定例会では、市長より議案が48件提出され、26件の報告を受けました。

市長が提出した案件のうち、議案第12号4年度一般会計予算については組み替え動議が提出されましたが、組み替え動議を否決して、原案どおり可決しました。

その他の議案47件については、原案どおり可決、原案に同意または原案を承認しました。

また、議員から提案された、議会議案第1号議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例の一部改正を可決し、議会議案第2号議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例の一部改正を否決しました。

更に、令和3年9月定例会で閉会中審査となった議案第100号行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例の一部改正、議案第101号第5次総合計画の2件を可決しました。

目次

- ◆そこが知りたい
質疑・一般質問 …… 2～5
- ◆令和4年度予算 …… 6
- ◆総合計画検討特別委員会 …… 6
- ◆予算決算委員会 …… 7
- ◆議案等の議決結果と
その賛否 …… 8
- ◆第9回議会報告会 …… 8



3月8日・9日・10日の本会議では、28人の議員（うち代表質問5人）が質疑・一般質問を行いました。

以下は、質問と答弁の要旨です。（発言順）

代表質問

地域振興基金の繰り替え
どのように返済するのか
自民党結の会 八尾 俊宏

問 地域振興基金40億円を繰替運用しているが、運用期間は令和5年3月までである。4年度当初予算案には返済のための予算が計上されていないが、どのように考えているのか。

市長 何としても解決しなければならぬ重要な問題であると認識している。金額規模が非常に大きいので、関係機関と調整すると一回で解消しなければならず、まとまったキャッシュが必要になる。引き続き慎重に検討したい。

子育て世帯臨時特別給付金
給付状況は

公明党 森岡 弘之



問 現在までの給付状況は。また、給付対象者に確実に行きわたるよう、未申請者へはどう対応するのか。

市長 児童手当受給世帯には給付済で、高校生のみを養育する等、申請が必要な世帯の

うち、令和4年2月末までに申請のあった世帯へは、4年3月中に給付予定である。未申請は300世帯を想定しており、申請期限を4年4月15日まで延長したことも併せてSNSや市ホームページにより、再度周知していく。



県域水道一体化の中間報告
市の評価は

日本共産党 井上 昌弘

問 中間報告では、市町村の累積欠損は企業団に引き継ぐことが出来、その補填には一般会計からの繰り入れも求めないとなっている。本市など北和の水道事業の黒字分が赤字の補填に回るのはないか。

市長 広域化事業においては、どのように補完するのか問題である。参加している自治体同士で水平補完をするのか、

国・県の財源を活用した垂直的な財政の均等化を図る取り組みを導入するのか、現在検討を進めている。

県域水道一体化のメリット
なければ離脱も出来るのか
明日の奈良を創る会 内藤 智司



問 中間報告では、令和4年11月までに基本計画案・協定案を作成、5年2月に法定協議会へ移行と示されているが、3年1月に水道事業統合に関する覚書に調印し協議している中で、今さら離脱することが本当に出来るのか。

市長 覚書の内容は統合に向けての協議・検討を進めることとなっており、市民にとってメリットがなければ当然統合に参加しない選択肢もある。現在は中立的な立場で検討している段階である。

農産物販路拡大事業
その目的と内容は

日本維新の会 佐野 和則



問 市の農業を維持するためには、地産地消の促進を見据えた農産物の販路拡大が不可欠である。令和4年度に取り

個人質問

消防充実に向けた施策
令和4年度の取り組みは
自民党結の会 塚本 勝

組む農産物販路拡大事業の目的と内容はどのようなものか。

市長 本事業では、生産者の販売力を強化し販路の拡大を目指すと共に、流通を促進することで産地の振興を図りたい。販路拡大に意欲のある生産者に多様な内容のセミナーを実施し、個々のフォローアップも行っていく。

生産者の意向を確認しながら進めたい。



問 我が国は自然災害多発国であり、消防職員は住民の生命・財産を守るため、災害に迅速に対応されているが、消防局の充実に向けた施策は。

消防局長 消防の充実を図るためには、消防職員の確保はもとより、施設等の整備が必要不可欠である。来年度はコロナ禍での感染防止対策を強化し、避難者の発熱に対応可能な個室の整備や支援助物資備蓄倉庫の増設など、施設の充実を図り災害に強いまちを目指したいと考えている。



環境清美工場の稼働
安定・安全に向けた対応を

公明党 九里 雄二

問 環境清美工場で基準を超えるダイオキシン類が検出され焼却炉が一時停止したが、これにより実施した焼却施設プラント調査の結果に基づく予算措置を含めた対応は。

環境部長 早急に修繕を要する優先順位の高い施設の修繕費用として、12月補正で2億2080万円を予算措置した。引き続き令和4年度は、定期的な補修及び整備費用に加え、早期に修繕を要する施設の修繕料として9億2390万円を当初予算として計上している。



平松地域のまちづくり

県が責任果たすよう協議を

日本共産党 白川健太郎

問 先日、平松地域のまちづくりの基本構想案が示されたが、県が担当する県総合医療センター跡地の南半分は売却も含めて検討とある。今後、県とどのように協議していくのか。

西谷副市長 これまで地元が求めてきた、防災機能や子育て世代のレクリエーション機能が充実した公園整備などの視点でまちづくりを検討し、将来的にその機能が担保出来る形で、県としてのもちづくりを果たすよう求めていきたい。



月ヶ瀬の地域づくり
梅を守る人材育成を

明日の奈良を創る会 阪本美知子

問 新市建設計画の梅林整備事業の経過は。また、梅を守る活動が喫緊の課題であると思うが、後継者の人材育成についてどう考えているのか。



名勝月ヶ瀬梅林

市民部長 梅林公園の整備に当たり、用地取得が困難である、傾斜地であるため豪雨による崩壊等が心配されるなどの理由から計画地を変更し、現在の場所に完成した。

地域と共にかげがえのない

名勝を保護し、世代を超えて継承していく取り組みに力を注ぎたい。



これからも選ばれるまちへ
教育環境の更なる整備を

日本維新の会 山岡 稔季

問 子どもたちの体験や学び方は多様化しており、今の時代に合った教育を行うことが出来る教員の育成が重要と考える。どのように進めるのか。

教育長 これからの時代に合った教育として、「STEAM・PBL教育推進研修」、「ESD・SDGs推進研修」を行っており、令和4年度からは「教育DX研修」を予定している。新たな教育課題に対応した研修や効果的な研修体制の整備を行い、教員の資質・能力の向上を図りたい。



子どもたちへの支援体制の
継続的な取り組みを

無所属 岡本 誠至

問 特別な支援が必要な子どもたちへの支援体制の構築について、新たな取り組みとして発達知能検査の実施などを決断したことは極めて重要で

あるが、今回の措置に限ることなく継続的なサポートが必要だと考える。市長の見解は。

市長 学びの多様性に光を当て、個々への支援の充実を図ることが求められている。現場のニーズをくみ取りながら子どもと保護者を支援していくよう、教育委員会と連携し最大限努力していきたい。



子どもの学習支援や居場所となる場を(旧あやめ池幼稚園)

高齢者のごみ出し
支援制度の導入を

自民党 結の会 太田 晃司

問 高齢化社会の進展に伴い、日々のごみ出しにおいて、市民ニーズに対応する施策の必要性が認識されているものの、実現していない。実現に向けて、今後取り組み課題は。

環境部長 現在、コミュニティ型支援での検討を進めており、令和4年度は地域自治

協議会等、地縁団体の意見を聞きながら、運営主体の選定や補助額、支援要件等の確定を考えている。市民が利用しやすい形となるよう各部連携の下、支援制度を進めたい。



ヤングケアラーへの支援
重層的支援体制での対応を

公明党 藤田 幸代

問 ヤングケアラーへの支援の入り口において、家庭の状況に応じた様々なアプローチと関係部署や団体との連携が必要となるが、重層的支援体制での対応は出来ないか。

向井副市長 制度のはざまにあるヤングケアラーの問題は、関係部署が多岐にわたるため、その対応には組織の縦割りを排した体制が必要である。複合・複雑化した支援ニーズへの対応を目的とする重層的支援体制整備事業の課題の一つとして検討・調整を進めたい。



国民健康保険の減免拡充と
保険料引き上げの見直しを

日本共産党 榊井 隆志

問 未就学児の保険料の均等割が令和4年4月から5割減

免となるが、18歳まで拡充する考えはないか。また、6年度の県統一水準に合わせて保険料が毎年引き上げられていくが、コロナ禍が続く中でも保険料の引き上げを行うのか。

福祉部長 市独自の減免等の拡充は難しいが、国への要望は継続する。また、県によると統一化の予定に変更はないとのことであった。コロナ禍の状況を鑑み対応をしてもらえるよう県と協議していく。



**小・中学校における
学校図書館の充実を
明日の奈良を創る会 樋口清二郎**

問 小・中学校の学校図書館には、本の貸出管理等を行うパソコンが設置されているが、老朽化や故障して使えないという声を聞いている。パソコンの更新が必要であると考えますが、市の見解は。

教育部長 学校図書館に配置されているパソコンの多くは、購入から十数年が経過している。子どもたちが本の貸出及び返却処理、図書検索をする際にパソコンは不可欠であるため、今後計画的に更新していきたい。



**動物愛護・管理条例
本市でも独自に制定を
日本維新の会 大西 淳文**

問 犬猫殺処分ゼロの達成は子猫の預かりボランティアさんの大変な努力のおかげであり、飼い主に「捨てさせない、持ち込ませない、増やさない」といった啓蒙活動も実施しなければならぬ。独自の条例を制定すべきでは。

市長 安易な気持ちで無責任に動物を飼う意識を全市民に見直す、啓発することが重要である。条例化は検討していなかったが、その効果など、他市事例を含めて実効性のある取り組みを検討したい。



**男女共同参画における
組織全体の意識向上を
無所属 下村 千恵**

問 男女共同参画室が啓発の中心的役割を担う一方で、社会や市の組織全体が男女共同参画、ジェンダー平等の当事者意識を持つ必要がある。どのように意識向上を図るのか。

市長 全庁的に男女共同参画への意識が共有されるのがゴールである。全ての部局に担当者を任命する、横串を刺

す調整が出来る重みのあるポジションを置くなどの具体的な方策は鋭意検討中であり、全庁的・全市民の展開に向け一層力を入れて取り組みたい。



**学校現場での感染症対策
今後の考え方は
自民党・結の会 道端 孝治**

問 今はこれまでの学校生活より感染症対策を優先しているが、今後は感染症の動向を踏まえ、一定の基準に達した場合、感染症対策より子どもたちの通常の学校生活を優先するよう切り替えることも必要であると思う。市の考えは。

教育長 子どもの心身の影響等も考慮し、健やかな学びの保障が出来るよう、市の対策本部会議や国・県の方針を踏まえて感染状況に応じた一定の基準を設け、部分的に緩和するなどして対応したい。



**子ども医療費助成
現物給付の対象年齢拡大を
公明党 宮池 明**

問 令和3年3月・9月定例会で子ども医療費助成現物給付の対象年齢拡大を市長に求



まちびらきから50周年を迎える
平城・相楽ニュータウン

**平城・相楽ニュータウン
50年先へのまちづくりは
日本共産党 山口 裕司**

め、4年度予算案に関連事業費が計上された。県との調整が困難であっても、多くの子育て世帯が制度の拡充を求めると考えるが、市長の見解は。

市長 住む場所所で受けられるサービスが異なることがあってはならず、本制度のよいモデルをつくるのが県内全体の子育て環境の整備につながると考える。引き続き努力したい。



問 まちびらきから50周年を迎える平城・相楽ニュータウンの再生として計上されている令和4年度予算の内容は。

市長 次の50年に向けたまちづくりの方向性を示すパワーアップビジョンを作成し、具体的な事業展開として、老朽化した駅前広場などのリニューアルによる賑わい創出を進め、ニュータウン全体のリノベーションにつなげていく。来年度は国の補助金も活用し、具体的な事業内容の検討と推進体制の構築を進めたい。



**行財政改革の取り組み
今のままで良いのか
明日の奈良を創る会 山出 哲史**

問 議会への報告漏れ、議案の提出忘れ、予算関係書類の単純な作成ミス等が連続して発生している。業務量が増え内容も複雑になっている中で、市長は職員削減や民間活用等により、12年にわたり行財政運営の効率化を進めているが、行き過ぎているのではないか。

市長 人口当たりの職員数が本市よりもはるかに少ないにもかかわらず、十二分に本市と同等かそれ以上の行政サービスを維持している。数ではなく質の議論をすべきと考えている。



**子どもの見守りサポート
安全対策の現状は**
日本維新の会 柳田 昌孝

問 コロナ対策に追われている現在、外出を控える人も多
い中、地域の協力による子ども
の見守りサポートや通学・
通園時の安全対策の現状は。



「ツイタもん」を活用した子どもの見守りサポート

教育長 見守りボランティア
の高齢化や担い手不足が全国
的に課題となっている。本市
では、散歩時等の「ながら見
守り」や不審者情報を配信す
る「なら子どもサポートネッ
ト」の活用に加え、登下校見
守りシステム「ツイタもん」
を導入し、人の垣根による見
守りの補完を進めて
いる。



**LocalCoop月ヶ瀬
首都圏からのアクセスは**
無所属 酒井 孝江

問 和歌山県白浜市に進出し
た企業が、首都圏とのアクセ
スが必要で、白浜空港があつ
たからと述べている。アクセ
スについて検討したのか。

市長 拠点となるワーケーシ
ョン施設は、企業間の交流を
通じて新たなビジネスを生み
出す新価値創造型・地域課題
解決型を採用する。伊丹空港・
関西国際空港から自家用車で
1時間半、トータル3時間程
度で首都圏からお越し頂ける
ため、一定の利便性
は担保されていると
考えている。



**地域でのフードドライブ
継続的な事業の実施を**
自民党 結の会 榎本 博一

問 フードドライブ事業を社
会に根付かせるにはどのよう
な取り組みが必要か。

子ども未来部長 フードドラ
イブの活動で寄附された食品
等がどのように届けられ活用
されているのか、また、受け
取った方の感謝の声など、そ
の活動内容をホームページや
SNS等で紹介し、周知する

ことが必要である。また、ノ
ウハウの提供や備品類の貸し
出しも活動拡大の後押しとな
る。地域ぐるみの取
り組みとなるよう努
めたい。



フードドライブの受付の様子



**観光案内所の体制見直しと
今後の観光ビジョンは**
明日の奈良を創る会 鍵田美智子

問 本市の観光案内所の中
には夜9時閉館のところもある
が、開館時間は見直さないの
か。また、観光事業を立て直
すための今後のビジョンは。

観光経済部長 日中に比べ夜
間の観光案内所の利用数は少
ないことから、開館時間を再
検討する必要がある。
また、地域の方々と一体と

なって観光客を受け入れる環
境づくりを進めると共に、よ
り質の高い奈良旅を提案し、
コロナ後には多くの
方に訪れて頂けるよ
う取り組む。



**新斎苑に係る合併特例債
国・県からの指摘は**
無所属 中西吉日出

問 新斎苑建設予算は市に有
利な合併特例債を財源として
いる。住民訴訟での判決を受
け、その財源について国や県
から指摘などはないのか。

市長 最高裁の上告不受理決
定を受け、総務省地方債課よ
り、土地取得額と鑑定評価額
の差額を起債の過充当として
借入機関と協議の上、繰上償
還等適切に対処されたいとの
指導があった。現在、借入先
や県と繰上償還に向け調整を
行っており、今後、
国等からの指導に従
い手続を進めていく。



**手話を用いた
積極的な情報発信を**
自民党 結の会 横井 雄一

問 手話言語条例にあるよう
に、積極的に手話を用いた情
報発信を行うことが手話通訳

者の人材育成の強化、待遇改
善など手話業界の発展につな
がると思うが、市の考えは。
総合政策部長 市長定例記者
会見の動画配信、手話通訳は
令和2年10月から導入した。
手話通訳者の皆様には短時間
で完璧な手話通訳をして頂き
感謝している。今後、手話通
訳者の人材育成につながるよ
う、様々な機会でも積
極的に手話通訳の導
入を検討したい。



**近鉄大和西大寺駅北側広場
高齢者に優しいトイレを**
無所属 松石 聖一

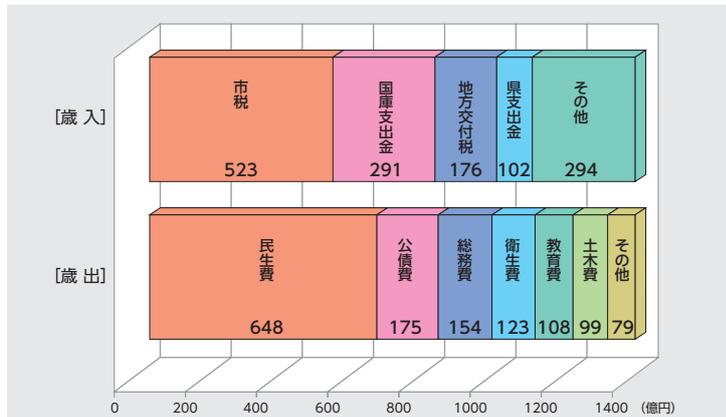
問 新年度予算では、学校ト
イレの手厚い予算措置に比べ、
高齢者への配慮が感じられな
い。近鉄大和西大寺駅北側広
場では、その整備に伴い公衆
トイレが撤去されると聞いて
いるが、何とか存続させ、シ
ルバートイレを設置してもら
いたい。市長の考えは。

市長 北側広場への公衆トイ
レの設置については、その後
の維持管理等もあるため、現
時点では南側に設置している
おもてなしトイレを
北側も含めて利用頂
きたい。



令和4年度一般会計予算

	予算額 (億円未満を 四捨五入)	対前年度比 (▲はマイナス)	市民1人当たり (4月1日現在、 千円未満を 四捨五入)
	1,386億円	▲0.2%	39万3千円
【歳入】			
市税	523億円	3.1%	14万8千円
(うち市民税)	(253億円)	1.6%	7万2千円
国庫支出金	291億円	▲1.9%	8万3千円
地方交付税	176億円	24.8%	5万円
県支出金	102億円	7.6%	2万9千円
その他	294億円		8万3千円
【歳出】			
民生費	648億円	2.0%	18万4千円
公債費	175億円	▲4.0%	5万円
総務費	154億円	9.7%	4万4千円
衛生費	123億円	▲1.1%	3万5千円
教育費	108億円	▲0.4%	3万1千円
土木費	99億円	▲10.2%	2万8千円
その他	79億円		2万2千円



一般会計予算1386億円 コロナを見据えた未来へ

令和4年度予算

令和4年度予算について、市長は、3月3日の3月定例会本会議の提案説明で、「4年度は未だ新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、収束の時期を明確に見通すことが難しい状況である。引き続き義務的及び継続的な経費を中心として計上する一方

で、新型コロナを起点とした社会全体の変革を的確に捉え、新しい一步を踏み出すことに重点を置いた予算配分を行った。」と予算の編成方針を述べ、一般会計で前年比0.2%減の1386億2000万円、全会計で前年度比2.2%増の総額2491億1100万円の予算案を提案しました。

審議の結果、令和4年度の予算案はいずれも原案どおり可決しました。

総合計画検討 特別委員会

- 委員長 森田一成
- 副委員長 藤田幸代
- 委員 山出哲史
- 岡本誠至
- 榊井隆志
- 白川健太郎
- 道端孝治
- 柳田昌孝
- 早田哲朗
- 八尾俊宏
- 内藤智司



令和3年9月定例会において、議案第100号行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例の一部改正及び議案第101号第5次総合計画を審査するため、故林 政行氏

を含む12人の委員で構成する総合計画検討特別委員会を設置しました。本委員会は令和3年9月30日から令和4年2月25日までに延べ7日間開催され、採決の結果、2議案共に原案どおり可決すべきものと決定し、3月3日の本会議で報告されました。



林 政行議員逝去

林 政行議員(39歳)は、令和4年1月19日逝去されました。

同氏は平成29年に初当選され、2期4年6カ月の間に厚生消防委員、観光文教委員、建設企業委員などを歴任されました。

予算決算委員会

この定例会では、人事案件等を除く令和4年度一般会計予算等の48件を予算決算委員会へ付託しました。

委員会は、3月10日に資料を要求し、15日・16日・17日に5つの分科会で審査を行い、22日に各分科会委員長の報告を受け、総括質疑を行いました。

委員より一般会計予算について組み替え動議が提出され、採決の結果、付託された48件はいずれも原案どおり可決、同意または承認すべきものと決定しました。

以下は、各分科会での主な質疑項目です。

ここでは、質疑のあった項目のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継等でご確認ください。

総務分科会

- 新型コロナウイルス対策と地方創生臨時交付金の状況
- 万博連携準備経費の内容
- 新年度における避難所への災害用物資の備蓄
- 定員適正化の具体的な推進

内容

- 住宅新築資金等貸付金特別会計の存続と貸付金の回収
- 会計年度任用職員の給料面で格差が未解消のもの
- 新斎苑整備事業における合併特例債過剰の詳細
- 過剰と指摘された合併特例債の繰り上げ償還
- 心のふるさと応援寄附による寄附額の現在の状況
- 多くの方に寄附して頂くための取り組み
- 地方創生臨時交付金の直接的な支援への活用
- 健康医療部各課における時間外労働の認識と改善策

観光文教分科会

- 子どもセンター開所への教育委員会としての取り組み
- 市内の飲食店支援のためのイベントの今後の展開
- 令和2年度以降の企業誘致の実績と営業活動の内容
- 富雄丸山古墳の文化財と道の駅中町の観光の連携施策
- リニア新幹線駅誘致事業の中止とコロナ対策への注力
- 中小事業者等への直接的な支援策の予算化
- 電子図書館運営のこれまでの評価と今後の方針
- 通級指導教室の増設と充実に向けた今後の目標と計画

厚生消防分科会

- タブレット端末によるAI学習ドリルの運用と拡充
- 小中学校施設維持補修経費の内容と空調メンテナンス
- 第3次男女共同参画計画案に関連する事業
- 電話やSNSによるいじめ相談窓口事業
- ふれあい交流ファーム体験の利用状況と今後の運営
- JR帯解駅改修の費用やスケジュールと駅舎活用
- パンビーホーム増築・整備に関する予算の背景と理由
- パンビーホームの整備基準と過密状態の解消

- ななまるカードバス優待乗車制度の負担割合
- フードバンク事業の施策としての正当性
- 消防団運営費の増額の考え
- 弁護士個別相談委託の費用の内容と実施状況
- 子ども医療費助成の現物給付の対象年齢拡大への課題
- キッズ・ゾーンの設置対応が遅れた経緯
- 生活保護関連予算の減少
- 介護保険関連予算の大幅な減少
- 保育士の更なる処遇改善の必要性の認識
- 子どもセンターにおける母子相談の対応
- 児童自立援助ホームの年齢制限の撤廃
- 児童相談所と裁判所との関係
- 風疹の無料抗体検査と予防接種の今後の取り組み
- Net119番緊急通報システムの導入
- コロナ禍における年度替わりの人事異動への配慮
- 災害時における個別避難計画作成と福祉避難所の増設

市民環境分科会

- ボランティア登録制度とポイント制度のリンク
- 草木、食品残渣の堆肥化における事業費の内容
- ポストコロナに向けた補助金活用講座等の開催経費
- スポーツに関するアンケート調査の事業内容
- 新斎苑西側山林の今後の計画
- 生理用品の無償配布の実施方法
- 新斎苑の光熱水費の根拠とDBO方式の運営費
- クリーンセンターの焼却炉の性能と広域化への枠組み
- クリーンセンター建設への斑鳩町との今後の協議内容
- 受益者負担である証明書郵送料を予算化している理由

建設企業分科会

- スポーツ振興課の政策課題と鴻ノ池の運動施設の改修
- クリーンセンター建設における地域住民の理解
- コミュニティバス実証運行の令和4年度の取り組み
- 県域水道一体化に係る議案提出等への今後の考え
- 市道南部第90号線・118号線の道路新設・改良事業
- 水道事業統合における業務委託内容と企業局長の考え
- 道路台帳デジタル化推進経費の予算化の根拠
- 企業団への職員派遣終了後の市長部局での受け皿
- 燃料価格の高止まりへの今後の対応
- 公園マネジメントワークショップの今後の活用
- 西之阪団地建替基本計画策定業務委託の目的と内容
- 奈良監獄エリア活性化事業設計・施工一括工事の内容
- 景観計画の改定に伴う条例改正の概要
- マンション管理適正化推進計画の策定に係る課題
- 近鉄学園前駅南口タクシ乗り場の椅子の撤去理由
- 第二阪奈道路をまたぐ橋梁の耐震化

議案等の議決結果とその賛否

○：賛成 ×：反対

件名	議決結果	会派名（一部略称）					無所属						
		自民党・結の会	公明党	日本共産党	明日の奈良を創る会	日本維新の会	岡田浩徳	岡本誠至	下村千恵	松石聖一	酒井孝江	中西吉日出	
◆ 議案													
予算	令和4年度一般会計予算	可決	○	○	×	○	※1	○	○	○	×	○	×
	〃 国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	〃 介護保険特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	〃 水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	〃 下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×
条例	行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
	幼保連携型認定こども園の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の全部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	屋外広告物条例の全部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
水道事業給水条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
その他	一般職の職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	第5次総合計画	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
◆ 議会議案													
	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例の一部改正（期末手当の支給割合の削減）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当の額並びにその支給に関する条例の一部改正（議員報酬月額削減）	否決	×	×	×	※2	○	○	○	○	×	×	○
◆ 動議													
	「議案第12号 令和4年度奈良市一般会計予算」の組み替えを求める動議	否決	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×

※1：賛成2 反対2 ※2：賛成3 反対2 注：議長は採決に加わりません。
市長提出議案で全会一致したものを省略しています。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

(会派所属議員名) 令和4年3月24日現在

会派名	議員数	所属議員名												
自民党奈良市議会・結の会	10	北良晃	塚本勝	榎本博一	道端孝治	太田晃司	八尾俊宏	山本憲宥	横井雄一	森田一成	土田敏朗			
公明党奈良市議会議員団	7	森岡弘之	宮池明	早田哲朗	藤田幸代	田畑日佐恵	九里雄二	伊藤剛						
日本共産党奈良市議会議員団	6	山口裕司	榊井隆志	白川健太郎	山本直子	井上昌弘	北村拓哉							
明日の奈良を創る会	5	内藤智司	山出哲史	樋口清二郎	鍵田美智子	阪本美知子								
日本維新の会奈良市議団	4	大西淳文	山岡稔季	佐野和則	柳田昌孝									

第9回議会報告会

開催日時：令和4年5月20日（金） 18：00～20：00終了予定

（会場には議会が招待した大学生の方々を迎えると共に、オンラインでも参加頂けるハイブリッド方式で開催します）

内容：議会報告と意見交換会（参加者の皆さんの疑問に市議会議員がお答えします）

テーマ：「奈良市政や地方政治について語ろう」

参加対象：令和4年度中に18歳から22歳になる方で、市内に在住、在勤または在学の方（大学生は23歳以上の方でも参加可能）

参加方法：オンラインでの参加となります。

参加を希望される方は、右のQRコードからお申し込みください。

・意見交換会の中で議員に聞いてみたいことを事前にお寄せください。

・当日の様子はインターネットでライブ配信・録画配信されます。発言の際などご自身の姿が映る場合がありますのであらかじめご了承ください。

締め切り：令和4年5月10日（火）

※報告会の様子は、ホームページの「奈良市議会 議会中継」のサイトからどなたでもご覧いただけます。

問合せ：議会事務局 電話：0742-34-4734 Eメール：gijichousa@city.nara.lg.jp

